

MASTER ENGLISH
STEP BY STEP

GRAMMAR
BUILDS
YOUR
POSSIBILITIES

THE GERUND

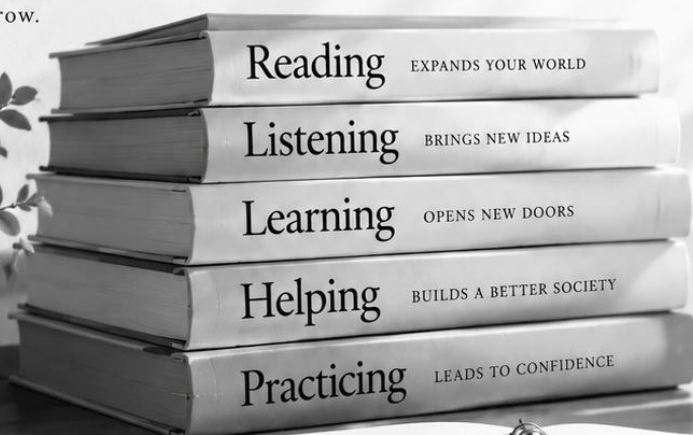
— 動名詞で、英語がもっと広がる —

A KEY TO RICHER EXPRESSIONS

Enjoying.
Learning.
Thinking.
Communicating.
Growing.

These Actions
Make a Brighter
Tomorrow.

*Everyday Actions
Create
a Bigger You.*



LANGUAGE
OPENS
NEW HORIZONS.

ENGLISH
FOR A BRIGHTER
TOMORROW

- (1) 動名詞についての説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。
- ① <動詞＋-ing>の形をとり、文中で名詞として働くものである
 - ② <動詞＋-ing>の形をとり、必ず進行中の動作を表すものである
 - ③ <動詞＋-ing>の形をとり、文中では必ず形容詞として働くものである
 - ④ <動詞＋-ing>の形をとり、動詞や形容詞だけを修飾するものである
- (2) 動名詞が文中で果たす働きについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
- ① 動名詞は副詞の働きをするため、主に動詞・形容詞を修飾する
 - ② 動名詞は形容詞の働きをするため、主に名詞を修飾する
 - ③ 動名詞は名詞の働きをするため、主語・目的語・補語などになることができる
 - ④ 動名詞は接続詞の働きをするため、2つの文を結びつけることができる
- (3) 動名詞についての説明として、間違っているものを1つ選びなさい。
- ① 動名詞は<V-ing>の形をとり、文中では名詞と同じ働きをする
 - ② 動名詞は名詞と同じ働きをするため、文中で主語・目的語・補語になることができる
 - ③ 動名詞は動詞の性質も持っているため、後ろに目的語や修飾語句を伴うことができる
 - ④ 動名詞は<V-ing>の形をとり、文中では形容詞と同じ働きをして名詞を修飾する
- (4) 次の文の Reading books の文中での働きについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
Reading books is important.
- ① Reading books は important を修飾する副詞句である
 - ② Reading books 全体が is の主語となっている
 - ③ Reading は進行形を作る現在分詞である
 - ④ Reading books は is の目的語となっている
- (5) 次の文の playing tennis の文中での働きについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
I enjoy playing tennis.
- ① playing tennis は主語 I の補語となっている
 - ② playing tennis は enjoy を修飾する副詞句となっている
 - ③ playing tennis は文全体の主語となっている
 - ④ playing tennis 全体が他動詞 enjoy の目的語となっている
- (6) 次の文の collecting stamps の文中での働きについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
My hobby is collecting stamps.
- ① collecting stamps は主語 My hobby の内容を説明する補語となっている
 - ② collecting stamps は is の目的語となっている
 - ③ collecting stamps は My hobby を修飾する形容詞句となっている
 - ④ collecting stamps は文全体を修飾する副詞句となっている
- (7) 前置詞の後ろに動詞の内容を続ける場合の形について、最も適切なものを1つ選びなさい。
- ① 前置詞＋動詞の原形
 - ② 前置詞＋V-ing

③ 前置詞+to V

④ 前置詞+過去形

- (8) 次の文で、using となっている理由として最も適切なものを1つ選びなさい。

He left the room without using his phone.

① without は接続詞なので、その後ろには必ず V-ing を置くから

② using は現在進行形を作っているから

③ using his phone は room を修飾する形容詞句だから

④ without は前置詞であり、その後ろで「携帯電話を使うこと」を表すため動名詞を用いるから

- (9) 次の文で、studying となっている理由として最も適切なものを1つ選びなさい。

She is interested in studying foreign languages.

① in は前置詞であり、その目的語として動詞の内容を置く場合は動名詞を用いるから

② studying は is と組み合わさって現在進行形を作っているから

③ studying は foreign languages を修飾する形容詞だから

④ interested の後ろでは必ず現在分詞を用いるから

- (10) 次のうち、動名詞が主語として用いられている文を1つ選びなさい。

① She is reading a book in her room.

② The boy reading a book is my brother.

③ Reading books helps us learn many things.

④ I saw a boy reading a book.

- (11) 次のうち、動名詞が動詞の目的語として用いられている文を1つ選びなさい。

① Swimming is good exercise.

② My favorite activity is swimming.

③ The girl swimming in the pool is my sister.

④ I enjoy swimming in the sea.

- (12) 次のうち、動名詞が補語として用いられている文を1つ選びなさい。

① My favorite activity is playing soccer.

② Playing soccer is a lot of fun.

③ I enjoy playing soccer after school.

④ The boys playing soccer are my classmates.

- (13) 次のうち、動名詞が前置詞の目的語として用いられている文を1つ選びなさい。

① Learning English takes a long time.

② My hobby is learning English.

③ I am interested in learning English.

④ I started learning English last year.

- (14) 動名詞と現在分詞の違いについて、最も適切な説明を1つ選びなさい。

① 動名詞と現在分詞はどちらも〈V-ing〉の形をとるが、動名詞は名詞として主語・目的語・

補語などになり、現在分詞は進行形を作ったり、名詞を修飾してその動作・状態を説明したりする

② 動名詞と現在分詞はどちらも〈V-ing〉の形をとるが、動名詞は主に動作や行為を表し、現在分詞は主に人や物の名称を表して、文中で主語・目的語・補語などとして用いられる

③ 動名詞と現在分詞はどちらも〈V-ing〉の形をとるが、動名詞は必ず文の主語として用いられ、現在分詞は必ず動詞の目的語として用いられる

④ 動名詞と現在分詞はどちらも〈V-ing〉の形をとり、文中での働きにも違いはなく、主語・目的語・補語・名詞修飾などのすべての位置で同じように用いられる

- (15) 次の2文の swimming の働きについて、最も適切な説明を1つ選びなさい。

(A) Swimming is good exercise.

(B) The boy is swimming in the pool.

① (A)(B)ともに動名詞である

② (A)(B)ともに現在分詞である

③ (A)は現在分詞、(B)は動名詞である

④ (A)は動名詞、(B)は現在分詞である

- (16) 次の2文の reading の働きについて、最も適切な説明を1つ選びなさい。

(A) Reading books is useful.

(B) The girl reading a book is Jane.

① (A)の reading は現在分詞、(B)の reading は動名詞である

② (A)の reading は動名詞、(B)の reading は現在分詞である

③ (A)(B)ともに動名詞である

④ (A)(B)ともに現在分詞である

- (17) 他動詞の後ろに〈V-ing〉が続く場合、その動名詞の文中での働きについて、最も適切な説明を1つ選びなさい。

例:I enjoy playing tennis.

① 動名詞全体が前の他動詞の主語となる

② 動名詞全体が前の他動詞の目的語となる

③ 動名詞全体が前の他動詞を修飾する副詞となる

④ 動名詞全体が主語の状態を説明する補語となる

- (18) 次の中から、目的語として主に〈V-ing〉をとる動詞の組み合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

① want・avoid・hope・give up

② plan・keep・expect・forget

③ decide・remember・hope・manage

④ enjoy・finish・mind・practice

- (19) enjoy の使い方について、最も適切な説明を1つ選びなさい。

① enjoy の後ろに動作を目的語として置く場合、原則として〈V-ing〉を用いる

- ② enjoy の後ろには必ず〈to V〉を置き、未来の行為を表す
 ③ enjoy は自動詞なので、後ろに目的語を置くことはできない
 ④ enjoy の後ろでは〈V-ing〉と〈to V〉を自由に交換できる
- (20) 次の文が誤りである理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。
 × She finished to write the report.
 ○ She finished writing the report.
 ① finish の後ろには動詞の原形を置くから
 ② finish は自動詞なので目的語をとることができないから
 ③ finish は「～し終える」の意味で、動作を目的語とするときは〈V-ing〉を用いるから
 ④ finish の後ろでは〈having p.p.〉しか用いることができないから
- (21) mind の使い方について、最も適切なものを1つ選びなさい。
 ① mind は「～することを気にする」の意味では〈to V〉だけを目的語にとる
 ② mind は「～することを気にする」の意味では〈V-ing〉を目的語にとる
 ③ mind は必ず前置詞 about を伴って〈mind about V-ing〉とする
 ④ mind の後ろに動作を表す表現を置くことはできない
- (22) 次の中から、目的語として主に〈to V〉をとる動詞の組み合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。
 ① enjoy・avoid・promise・begin
 ② practice・consider・try・admit
 ③ want・decide・hope・promise
 ④ like・start・give up・stop
- (23) 〈to V〉と〈V-ing〉の基本的な意味の違いについて、最も適切な説明を1つ選びなさい。
 ① 〈to V〉には未来・これから行うことを指す傾向があり、〈V-ing〉にはすでに経験したこと・実際の行為・反復的な行為などを指す傾向がある
 ② 〈to V〉は必ず過去の行為を表し、〈V-ing〉は必ず未来の行為を表す
 ③ 〈to V〉は名詞としてしか働かず、〈V-ing〉は副詞としてしか働かない
 ④ 〈to V〉と〈V-ing〉には意味上の違いがまったくなく、すべての場合で交換できる
- (24) 次の文で studying が用いられている理由として、最も適切なものを1つ選びなさい。
 He gave up studying abroad.
 ① give up の up は不定詞の to と同じ働きをするから
 ② studying は abroad を修飾する現在分詞だから
 ③ give up は「～することをあきらめる」の意味で、後ろに〈V-ing〉を置くから
 ④ give up の後ろには必ず進行形を置くから
- (25) begin の後ろに〈to V〉と〈V-ing〉が続く場合について、最も適切なものを1つ選びなさい。
 ① begin の後ろには、不定詞の名詞的用法〈to V〉だけを目的語として用いることができ、動名詞〈V-ing〉を用いることはできない
 ② begin の後ろには、動名詞〈V-ing〉だけを目的語として用いることができ、不定詞の名

詞的用法〈to V〉を用いることはできない

③ begin は、不定詞の名詞的用法〈to V〉と動名詞〈V-ing〉の両方を目的語にとることができ、通常どちらも「V し始める」というほぼ同じ意味になる

④ begin V-ing は、動名詞が目的語となる名詞的な働きで「V することを始める」、begin to V は、不定詞の副詞的用法(目的)で「V するために始まる」という意味になる

(26) start の後ろに〈to V〉と〈V-ing〉が続く場合について、最も適切なものを1つ選びなさい。

① start は、不定詞の名詞的用法〈to V〉と動名詞〈V-ing〉の両方を目的語にとることができ、通常どちらも「V し始める」というほぼ同じ意味になる

② start の後ろには、不定詞の名詞的用法〈to V〉だけを目的語として用いることができ、動名詞〈V-ing〉を用いることはできない

③ start の後ろには、動名詞〈V-ing〉だけを目的語として用いることができ、不定詞の名詞的用法〈to V〉を用いることはできない

④ start V-ing は、動名詞が目的語となる名詞的な働きで「V することを始める」、start to V は、不定詞の副詞的用法(目的)で「V するために始まる」という意味になる

(27) like の後ろに〈to V〉と〈V-ing〉が続く場合について、最も適切なものを1つ選びなさい。

① like の後ろには、動名詞〈V-ing〉だけを目的語として用いることができ、不定詞の名詞的用法〈to V〉を用いることはできない

② like の後ろには、不定詞の名詞的用法〈to V〉だけを目的語として用いることができ、動名詞〈V-ing〉を用いることはできない

③ like V-ing は、動名詞が目的語となる名詞的な働きで「V することが好きだ」、like to V は、不定詞の副詞的用法(目的)で「V するために好む」という意味になる

④ like は、不定詞の名詞的用法〈to V〉と動名詞〈V-ing〉の両方を目的語にとることができ、どちらも「V することが好きだ」という意味で用いられるが、文脈によってニュアンスに違いが生じることがある

(28) remember to V と remember V-ing の違いについて、最も適切なものを1つ選びなさい。

① どちらも「V することを覚えている」の意味で、意味の違いはない

② remember to V は過去の行為を、remember V-ing は未来の行為を表す

③ remember to V は「V したことを覚えている」、remember V-ing は「忘れずに V する」の意味になる

④ remember to V は「忘れずに V する」、remember V-ing は「V したことを覚えている」の意味になる

(29) 次の2文の意味の違いについて、最も適切なものを1つ選びなさい。

(A) I remembered to lock the door.

(B) I remember locking the door.

① (A)「私はドアに鍵をかけたことを覚えていた」 (B)「私は忘れずにドアに鍵をかけた」

② (A)「私は忘れずにドアに鍵をかけた」 (B)「私はドアに鍵をかけたことを覚えている」

- ③ (A)(B)ともに「私はドアに鍵をかけるつもりだった」
④ (A)(B)ともに「私はドアに鍵をかけるのを忘れた」
- (30) forget to V と forget V-ing の違いについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
① forget to V は「V するのを忘れる」、forget V-ing は「V したことを忘れる」の意味になる
② forget to V は「V したことを忘れる」、forget V-ing は「V するのを忘れる」の意味になる
③ どちらも必ず「V したことを忘れる」という意味になる
④ どちらも必ず「V するのを忘れる」という意味になる
- (31) stop V-ing と stop to V の違いについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
① stop V-ing は「V するために立ち止まる」、stop to V は「V するのをやめる」の意味になる
② stop V-ing と stop to V はどちらも「V するのをやめる」の意味になる
③ stop V-ing は「V するのをやめる」、stop to V は「V するために立ち止まる・今していることを中断する」の意味になる
④ stop の後ろでは〈V-ing〉しか用いることができず、stop to V という形はない
- (32) 次の2文の文構造について、最も適切な説明を1つ選びなさい。
(A) He stopped smoking.
(B) He stopped to smoke.
① (A)では smoking が stop の目的語で、(B)では to smoke が「喫煙するために」という目的を表す副詞的用法である
② (A)では smoking が現在分詞で、(B)では to smoke が stop の目的語である
③ (A)(B)ともに smoking / to smoke が stop の目的語である
④ (A)(B)ともに smoking / to smoke が stop を修飾する副詞である
- (33) try to V と try V-ing の違いについて、最も適切なものを1つ選びなさい。
① try to V は「試しに V してみる」、try V-ing は「V しようと努力する」の意味になる
② try to V は「V しようと努力する」、try V-ing は「試しに V してみる」の意味になる
③ try to V と try V-ing は常に同じ意味で、自由に交換できる
④ try の後ろには原則として〈V-ing〉しか置くことができない

解答 (1)① (2)③ (3)④ (4)② (5)④ (6)① (7)② (8)④ (9)① (10)③ (11)④ (12)① (13)③ (14)① (15)④ (16)② (17)② (18)④ (19)① (20)③ (21)② (22)③ (23)① (24)③ (25)③ (26)① (27)④ (28)④ (29)② (30)① (31)③ (32)① (33)②

承知しました。サンプルと同じく、「正解＋内容」→[解説]の形式で、各問とも理由だけでなく他の選択肢がなぜ誤りなのかまで含めて解説します。

(1) 正解①:動詞＋-ing>の形をとり、文中で名詞として働くものである

[解説]動名詞は<V-ing>の形をとり、文中で名詞と同じ働きをします。たとえば Reading books is fun.「本を読むことは楽しい」では Reading books が主語、I enjoy reading books.「私は本を読むことを楽しむ」では reading books が目的語です。②の「進行中の動作」を表すのは現在分詞を用いた進行形の説明です。③の形容詞、④の副詞の働きも動名詞の基本的な働きではないため、①が正解です。

(2) 正解③:動名詞は名詞の働きをするため、主語・目的語・補語などになることができる

[解説]動名詞は<V-ing>の形をしていますが、文中では名詞として働くため、主語・目的語・補語などになることができます。たとえば Swimming is fun. では主語、I like swimming. では目的語、My hobby is swimming. では補語です。①の副詞、②の形容詞、④の接続詞として働くという説明はいずれも動名詞の基本的な働きではありません。したがって③が正解です。

(3) 正解④:動名詞は<V-ing>の形をとり、文中では形容詞と同じ働きをして名詞を修飾する

[解説]この問題は「間違っているもの」を選びます。動名詞は<V-ing>の形をとり、名詞として主語・目的語・補語などになるので、①②は正しい説明です。また、動詞の性質を残しているため、reading books のように目的語を伴うこともでき、③も正しい説明です。一方、名詞を修飾する形容詞的な働きは基本的に現在分詞の働きなので、④が誤りです。

(4) 正解②:Reading books 全体が is の主語となっている

[解説]Reading books is important. は「本を読むことは重要です」という意味です。Reading books 全体が「本を読むこと」という名詞相当のまとまりとなり、動詞 is の主語になっています。Reading は進行形を作る現在分詞ではないので③は誤りです。また、important を修飾する副詞句でも、is の目的語でもないため①④も誤りです。したがって②が正解です。

(5) 正解④:playing tennis 全体が他動詞 enjoy の目的語となっている

[解説]I enjoy playing tennis. は「私はテニスをするを楽しみます」という意味です。enjoy は目的語を必要とする他動詞で、playing tennis 全体が「テニスをする」という名詞相当のまとまりとなって enjoy の目的語になっています。主語は I なので③、playing tennis は補語ではないので①、enjoy を修飾する副詞句でもないので②は誤りです。したがって④が正解です。

(6) 正解①:collecting stamps は主語 My hobby の内容を説明する補語となっている

[解説]My hobby is collecting stamps. は「私の趣味は切手を集めることです」という

意味です。collecting stamps は「切手を集めること」という名詞相当のまとまりで、be 動詞 is の後ろに置かれ、主語 My hobby の内容を説明する補語になっています。be 動詞は目的語をとらないので②は誤りです。また、My hobby を修飾する形容詞句でも、文全体を修飾する副詞句でもないため③④も誤りです。したがって①が正解です。

(7) 正解②:前置詞+V-ing

[解説]前置詞の後ろには名詞または名詞相当語句を置くのが原則です。そのため、前置詞の後ろで「V すること」という動作を表したい場合には、動詞を名詞化した動名詞〈V-ing〉を用います。たとえば after eating「食べた後で」、without saying anything「何も言わずに」のようになります。①動詞の原形、③to V、④過去形をそのまま前置詞の目的語とすることはできないため、②が正解です。

(8) 正解④:without は前置詞であり、その後ろで「携帯電話を使うこと」を表すため動名詞を用いるから

[解説]He left the room without using his phone. は「彼は携帯電話を使わずに部屋を出た」という意味です。without は前置詞なので、その後ろに動作を表す内容を置く場合は動名詞〈V-ing〉を用い、without using ～「～を使わずに」とします。①のように without を接続詞と考えるのは誤りです。また、using は進行形を作っているわけでも、room を修飾しているわけでもないため②③も誤りで、④が正解です。

(9) 正解①:in は前置詞であり、その目的語として動詞の内容を置く場合は動名詞を用いるから

[解説]She is interested in studying foreign languages. は「彼女は外国語を勉強することに興味がある」という意味です。be interested in ～ の in は前置詞なので、その後ろで「勉強すること」という動作を表す場合は studying という動名詞を用います。studying は is と進行形を作っているわけではなく、foreign languages を修飾する形容詞でもありません。また interested の後ろに必ず現在分詞を置くわけでもないため、①が正解です。

(10) 正解③:Reading books helps us learn many things.

[解説]③の Reading books は「本を読むこと」という名詞相当のまとまりで、動詞 helps の主語になっているため動名詞です。①の reading は is とともに現在進行形を作っています。②の reading a book は The boy を後ろから修飾する現在分詞です。④の reading a book も知覚動詞 saw の目的格補語として a boy の動作を説明する現在分詞なので、③が正解です。

(11) 正解④:I enjoy swimming in the sea.

[解説]④では swimming in the sea が「海で泳ぐこと」という名詞相当のまとまりとなり、他動詞 enjoy の目的語になっています。①の Swimming は主語、②の swimming は補語なので、いずれも動名詞ですが「動詞の目的語」ではありません。③の swimming in the pool は The girl を修飾する現在分詞です。したがって、動名詞が動詞の目的語になっている④が正解です。

- (12) 正解①: My favorite activity is playing soccer.

[解説]①の playing soccer は「サッカーをすること」という名詞相当のまとまりで、be 動詞 is の後ろから主語 My favorite activity の内容を説明する補語になっています。②では Playing soccer が主語、③では playing soccer が enjoy の目的語です。④の playing soccer は The boys を修飾する現在分詞なので、補語として動名詞が使われている①が正解です。

- (13) 正解③: I am interested in learning English.

[解説]③では be interested in ～「～に興味がある」の in が前置詞であり、その目的語として learning English「英語を学ぶこと」という動名詞句が置かれています。①では Learning English が主語、②では learning English が補語、④では learning English が started の目的語です。したがって、動名詞が「前置詞の目的語」となっている③が正解です。

- (14) 正解①: 動名詞は名詞として働き、現在分詞は進行形を作ったり名詞を修飾したりする

[解説]動名詞と現在分詞はどちらも〈V-ing〉という同じ形ですが、文中での働きによって区別します。動名詞は名詞として主語・目的語・補語などになります。一方、現在分詞は be V-ing の進行形を作ったり、the boy running there「そこで走っている少年」のように名詞を修飾したりします。②③④はいずれも両者の文法上の働きを正しく区別していないため、①が正解です。

- (15) 正解④: (A)は動名詞、(B)は現在分詞である

[解説](A) Swimming is good exercise. の Swimming は「泳ぐこと」という意味で、文全体の主語になっているため動名詞です。一方、(B) The boy is swimming in the pool. の is swimming は「泳いでいる」という現在進行形であり、swimming は現在分詞です。同じ〈V-ing〉でも文中での働きが異なるため、(A)は動名詞、(B)は現在分詞となり、④が正解です。

- (16) 正解②: (A)の reading は動名詞、(B)の reading は現在分詞である

[解説](A) Reading books is useful. では Reading books 全体が「本を読むこと」という意味で主語になっているため、reading は動名詞です。一方、(B) The girl reading a book is Jane. では reading a book が The girl を後ろから修飾し、「本を読んでいる少女」という意味を作っているため、reading は現在分詞です。したがって②が正解です。

- (17) 正解②: 動名詞全体が前の他動詞の目的語となる

[解説]他動詞は目的語を直接後ろにとる動詞です。I enjoy playing tennis. では enjoy が他動詞で、その後ろの playing tennis が「テニスをすること」という名詞相当のまとまりとなり、enjoy の目的語になっています。動名詞は名詞の働きをするため、このように他動詞の目的語になることができます。①主語、③副詞、④補語ではないため、②が正解です。

- (18) 正解④: enjoy・finish・mind・practice

[解説]enjoy「～することを楽しむ」、finish「～し終える」、mind「～することを気にする」、practice「～する練習をする」は、動作を目的語にするとき主に〈V-ing〉をとる動詞です。enjoy reading、finish writing、mind waiting、practice speaking のように用います。①～③には want・hope・plan・decide・manage など、主に〈to V〉をとる動詞が含まれているため、④が正解です。

- (19) 正解①:enjoy の後ろに動作を目的語として置く場合、原則として〈V-ing〉を用いる

[解説]enjoy は「～を楽しむ」という意味の他動詞で、動作を目的語に置く場合には enjoy V-ing「V することを楽しむ」の形をとります。たとえば I enjoy playing tennis. 「私はテニスをするを楽しみます」となります。enjoy to play のように〈to V〉を目的語にすることは原則としてできないため②④は誤りです。また enjoy は他動詞なので③も誤りであり、①が正解です。

- (20) 正解③:finish は「～し終える」の意味で、動作を目的語とするときは〈V-ing〉を用いるから

[解説]finish は「～を終える・～し終える」という意味で、後ろに動作を目的語として続ける場合には finish V-ing の形をとります。そのため She finished writing the report. 「彼女はレポートを書き終えた」が正しく、finished to write は誤りです。①の動詞の原形を置くという規則はなく、finish は目的語をとれるので②も誤りです。④の〈having p.p.〉だけを用いるという決まりもないため、③が正解です。

- (21) 正解②:mind は「～することを気にする」の意味では〈V-ing〉を目的語にとる

[解説]mind は「～を気にする」という意味で、後ろに動作を目的語として置く場合には mind V-ing「V することを気にする」の形をとります。たとえば Do you mind opening the window? 「窓を開けてもらえませんか」のように用います。mind to V とはしないので①は誤りです。また about が必須というわけではなく、動作を表す目的語もとれるため③④も誤りで、②が正解です。

- (22) 正解③:want・decide・hope・promise

[解説]want・decide・hope・promise は、動作を目的語として続ける場合に主に〈to V〉をとる動詞です。want to go「行きたい」、decide to go「行くことを決める」、hope to see「会いたいと願う」、promise to help「手伝うと約束する」のように用います。①②④には enjoy・avoid・practice・consider・admit・give up など、〈V-ing〉をとる語が含まれているため、③が正解です。

- (23) 正解①:〈to V〉は未来志向、〈V-ing〉は経験・実際の行為などを指す傾向がある

[解説]〈to V〉には「これから V すること」という未来・未実現の行為を指す傾向があり、〈V-ing〉には、すでに経験したこと・実際に行っていること・反復的な行為などを一つの事柄として捉える傾向があります。この違いは remember to V / remember V-ing などの意味の違いにも現れます。ただし、これはあくまで基本的な「傾向」であり、必ず未来・過去になるという規則ではありません。したがって②③④は誤りで、①が正解です。

- (24) 正解③:give up は「～することをあきらめる」の意味で、後ろに〈V-ing〉を置くから

[解説]give up V-ing は「V することをあきらめる」という重要表現です。He gave up studying abroad. は「彼は留学することをあきらめた」という意味で、studying abroad 全体が give up の目的語となっています。up は不定詞の to と同じ働きをするわけではないので①は誤りです。studying は現在分詞でも進行形でもないため②④も誤りで、③が正解です。

- (25) 正解③:begin は〈to V〉と〈V-ing〉の両方を目的語にとることができる

[解説]begin は begin to V と begin V-ing の両方を用いることができ、通常はどちらも「V し始める」というほぼ同じ意味になります。begin to study / begin studying はともに「勉強し始める」という意味です。この場合の to V は begin の目的語となる不定詞の名詞的用法であり、V-ing は動名詞です。したがって①②は誤りで、④のように to V を副詞的用法(目的)と考えるのも誤りなので、③が正解です。

- (26) 正解①:start は〈to V〉と〈V-ing〉の両方を目的語にとることができる

[解説]start も begin と同様に、start to V と start V-ing の両方を用いることができ、通常はどちらも「V し始める」というほぼ同じ意味になります。start to rain / start raining はともに「雨が降り始める」という意味です。この場合の to V は不定詞の名詞的用法、V-ing は動名詞として扱います。②③のように一方しか使えないわけではなく、④の to V を副詞的用法(目的)とする説明も誤りなので、①が正解です。

- (27) 正解④:like は〈to V〉と〈V-ing〉の両方を目的語にとることができる

[解説]like は like to V と like V-ing の両方を用いることができ、どちらも基本的に「V することが好きだ」という意味を表します。I like to read. / I like reading. はどちらも「私は読書が好きだ」という意味ですが、文脈によってニュアンスが異なることがあります。この場合の to V は不定詞の名詞的用法、V-ing は動名詞です。①②のように一方しか使えず、③のように to V が副詞的用法になるわけではないため、④が正解です。

- (28) 正解④:remember to V は「忘れずに V する」、remember V-ing は「V したことを覚えている」

[解説]remember to V は「これからすべきことを覚えていて、忘れずに V する」という意味を表します。一方、remember V-ing は「すでに V したことを覚えている」という意味で、過去の行為についての記憶を表します。たとえば Remember to call him. は「忘れずに彼に電話しなさい」、I remember calling him. は「彼に電話したことを覚えている」です。したがって①②③は誤りで、④が正解です。

- (29) 正解②:(A)「忘れずに鍵をかけた」／(B)「鍵をかけたことを覚えている」

[解説](A) I remembered to lock the door. の remember to V は「忘れずに V する」という意味なので、「私は忘れずにドアに鍵をかけた」となります。一方、(B) I remember locking the door. の remember V-ing は「V したことを覚えている」という意味なので、「私はドアに鍵をかけたことを覚えている」となります。to V と V-ing の違いがそのまま意味の違いに現れているため、②が正解です。

- (30) 正解①:forget to V は「V するのを忘れる」、forget V-ing は「V したことを忘れる」

[解説]forget to V は「これからすべき V を忘れる」という意味で、結果としてその行為をしなかったことを表します。たとえば I forgot to call him. は「私は彼に電話するのを忘れた」です。一方、forget V-ing は「すでに V したことを忘れる」という意味で、過去の行為についての記憶を失うことを表します。両者の意味を逆にした②や、どちらも同じ意味だとする③④は誤りなので、①が正解です。

- (31) 正解③:stop V-ing は「V するのをやめる」、stop to V は「V するために立ち止まる・中断する」

[解説]stop V-ing では V-ing が stop の目的語となり、「V することをやめる」という意味になります。一方、stop to V の to V は stop の目的語ではなく、「V するために」という不定詞の副詞的用法(目的)です。たとえば stop smoking は「喫煙をやめる」、stop to smoke は「喫煙するために立ち止まる・今していることを中断する」となります。したがって③が正解です。

- (32) 正解①:(A)では smoking が目的語、(B)では to smoke が目的を表す副詞的用法である

[解説](A) He stopped smoking. では smoking が「喫煙すること」という動名詞で、他動詞 stop の目的語になり、「彼は喫煙をやめた」という意味になります。一方、(B) He stopped to smoke. の to smoke は「喫煙するために」という不定詞の副詞的用法(目的)で、stopped を修飾しています。したがって両者は同じ文構造ではなく、①が正解です。

- (33) 正解②:try to V は「V しようと努力する」、try V-ing は「試しに V してみる」

[解説]try to V は「V しようとする・V しようと努力する」という意味で、ある行為の実現を目指すことを表します。たとえば I tried to open the door. は「私はドアを開けようとした」です。一方、try V-ing は「試しに V してみる」という意味で、問題解決などのために実際にその行為を試すことを表します。両者は意味が異なるため①③④は誤りで、②が正解です。